株式会社ジェイコムイースト 東関東局 2014 年度(平成 26 年) 放送番組審議会 議事録

2014 年度(平成 26 年)の放送番組審議会は 2014 年 6 月 25 日(水)に東関東局で開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席 (五十音順)

伊 東 晋 様 庄 子 進 様 田 口 恵 一 様
西 川 美 恵 子 様 平 井 克 己 様

ご欠席 ※委任状あり

坂 詰 宮 子 様 関 学 様

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みに関して報告があった。

【質疑応答】

(柏市広報番組について、季節感ある情報を)

委員 7月にスタートする柏市の番組における役所との関係は。内容は、柏市の公的情報を流すことになるのか。

また、情報系番組では、開花情報など、タイミングよく季節感のある情報もあったらいい。

事業者 柏市の広報予算の中で、同市広報課の意向に沿って番組制作をすることになる。

背景には、市民の定住化を図ったり、柏の良さを周知することを目的としている。

読売新聞にも広報番組に関する記事が掲載された。

(もっと地元を知る情報を)

委員 番組が充実してきた。文化、スポーツ、行政とのタイアップも良いことである。

柏は、東京周辺で自然も残っている良い町だと言われるが、もっと文化、スポーツ、アカデミズムと市民とのつながりを紹介する情報があってもいい。市のイメージアップにもなる。

(既加入への新 STB 案内)

委員 年々、番組が充実してきた印象である。ハードの面では、新規の方には新しい STB を案内していると思うが、既存の加入者にも積極的に切替えのアプローチをしているのか。

事業者 テレビ CM、番組ガイドなどで既存のお客様にも切り替えを促進している。月額の利用料も変わらない。スピードアップして、解約防止、他社への切替え防止のためにも、積極的にご案内したい。

(加入の新規開拓手法)

委員 新規開拓は、飛び込み営業ということか。

事業者 これまでと同様の手法に加えて、電力サービス(電力の小売化)のご案内で、これまで接触機会のなかったお客様にもアプローチを広げている。

(「芸術祭」放送機会によるTVサービス加入)

委員 行政との関係強化の取組みでは良い活動をしている。

NHK カジュアルクラシックコンサートは、良いイベントであった。

昨年初めて開催した「柏市民芸術祭」は、今年も大成功に終わり、多くの方々に喜んでいただいた。「芸術祭」の放送がきっかけで、J:COM 加入にもつながっている。

(番組の視聴率データ)

委員 番組の視聴率は取れるのか。第三者的な数字の物差しが欲しい

事業者 社内の内部資料的なものはあるが、地上波の抽出方法とは異なるため、対比できない。そのため、開示をしていない。

(EPG内容の充実を)

委員 EPGの番組表があるが、BS、地上波に比べて内容が簡略すぎる。出演者すら掲載されていない番組もある。視聴者の欲しい情報がない。もう少し充実できないか。

今の番組情報では、中身が判らず、直接受信の地上波・EPGを見た後、J:COMに戻って録画することになり不便である。業務的な情報は不要なのではないか。

視聴者からもこうした指摘はないのだろうか。

ここを充実することで、喜ばれる視聴者が多いと思う。

事業者 同様に J:COM チャンネルに於ける EPG のご指摘はいただいております、改善のための組み立てをしているところである。

事業者 新しい STB では、従来、最大 500GB(ギガ)だった録画容量を 2TB(テラ)に増やしている。従って、我々としても地上波含め録画視聴も促進しているところである。ガイド誌でも BS 番組表掲載を開始している。EPG 内容の充実は、本部にも働きかけをして、使い勝手を高めていきたい。

(JCN との番組統一)

委員 JCN グループと番組の統一は出来たのか。

事業者 6 月 1 日に番組の統一を実施した。旧 JCN エリアには、黒 BOX(Smart J:COM Box)が導入できていない。まず、顧客管理システムを一緒にする必要があるので、千葉エリアは今年の 10 月以降になる見込みである。

(新 STB に関して)

委員 au の携帯を持っていないと白 BOX(Smart TV Box)には加入できないのか。

事業者 加入は出来るが、連携しないと利用するメリットが少ない。現状の比率でいえば、黒 BOX が支持されている。一番の違いは、白 BOX は、VOD が視聴できない。将来的には共通化する可能性もある。

KDDI の「ビデオパス」は IP-VOD なので、白 BOX でも視聴可能である。

また、J:COM 以外の CATV 局には、IP-VOD を販売することも検討している。

(4K テレビの J:COM ショップ設置)

事業者 4K テレビを柏と我孫子の J:COM ショップに設置したところである。「4K」の映像を体感することが可能である。

(多チャンネル市場の飽和感)

委員 全国的に加入者は飽和してきたという感じだろうか。

事業者 多チャンネルの加入者の伸びは鈍化しているが、今回の新 STB の導入により、これまで取れなかった若年層も取り込んで成長を目指したい。

40、50 歳代以上の層に比べ、弱いとされていた 20 歳代から 30 代前半を取り込まないと、これから 10 年単位の先では厳しくなる。

(電力サービスの次商品)

委員 電力サービスの次というと、ショッピングの宅配や出前などのサービスを考えているのか。

事業者 生活支援サービスという大きな括りの中で TVでのショッピングは既に可能である。安心・安全につながるような、高齢者の単身世帯向けの商品配達、例えば電球を届けるだけでなく、取替えサービスも提供する。こうした高齢者向けサービスに加えて、若年層を取り込むサービスの充実が課題となる。

(双方向性を利用した個人情報サービス化)

委員 CATV 局の STB は双方向であり、加入者との間で契約化することで個人情報を利用したサービスも可能であろう。双方向のネットワークで家庭とつながっているのは、強みである。

以上